

## 星 圭介氏を送る言葉

土居喜公（事務部）

今年もまた定年退官をされる方々をお送りする時節となりましたが、わが理学部においても給与掛長星圭介氏がめでたく退官されることになりました。

星さんは、昭和21年5月6日付で本学農学部附属演習林に奉職され、その後昭和41年10月1日付用度掛長に昇位、次いで昭和51年4月1日付で理学部給与掛長に配置換となり、現在に至りました。その間42年10箇月余の永きに亘って東京大学における事務部門の一員として自己の職責を全うされたことに深く敬意を表すものであります。

当理学部においては、満13年間給与掛長として給与・共済・福祉関係事務の責任者としての責務に専念されました。

当学部は教職員数約550名の学内屈指の大部局のため、その事務処理は複雑多様を極め、給与掛での13年間は人間関係も含めて苦労の連続であったであろうことは充分に察することができますが、星さんはそれを克服しながら専心業務に励まれたわけで、吾々後輩にとり尊敬の念で一杯であります。

仕事を離れた日常の星さんは、昼休みは連日将

棋に興じ、また自分の息子や娘の様な職員に対しては好々爺の様に接する光景を屢々見受けられました。

どうか退職されてもお暇の折には理学部をお訪ねいただき、その温厚な顔で吾々後輩に対して人

生経験に基づく貴重なお話でもお聴かせ願いたいと思っております。

どうも永い間ご苦労さまでした。益々の御健勝をお祈りいたします。